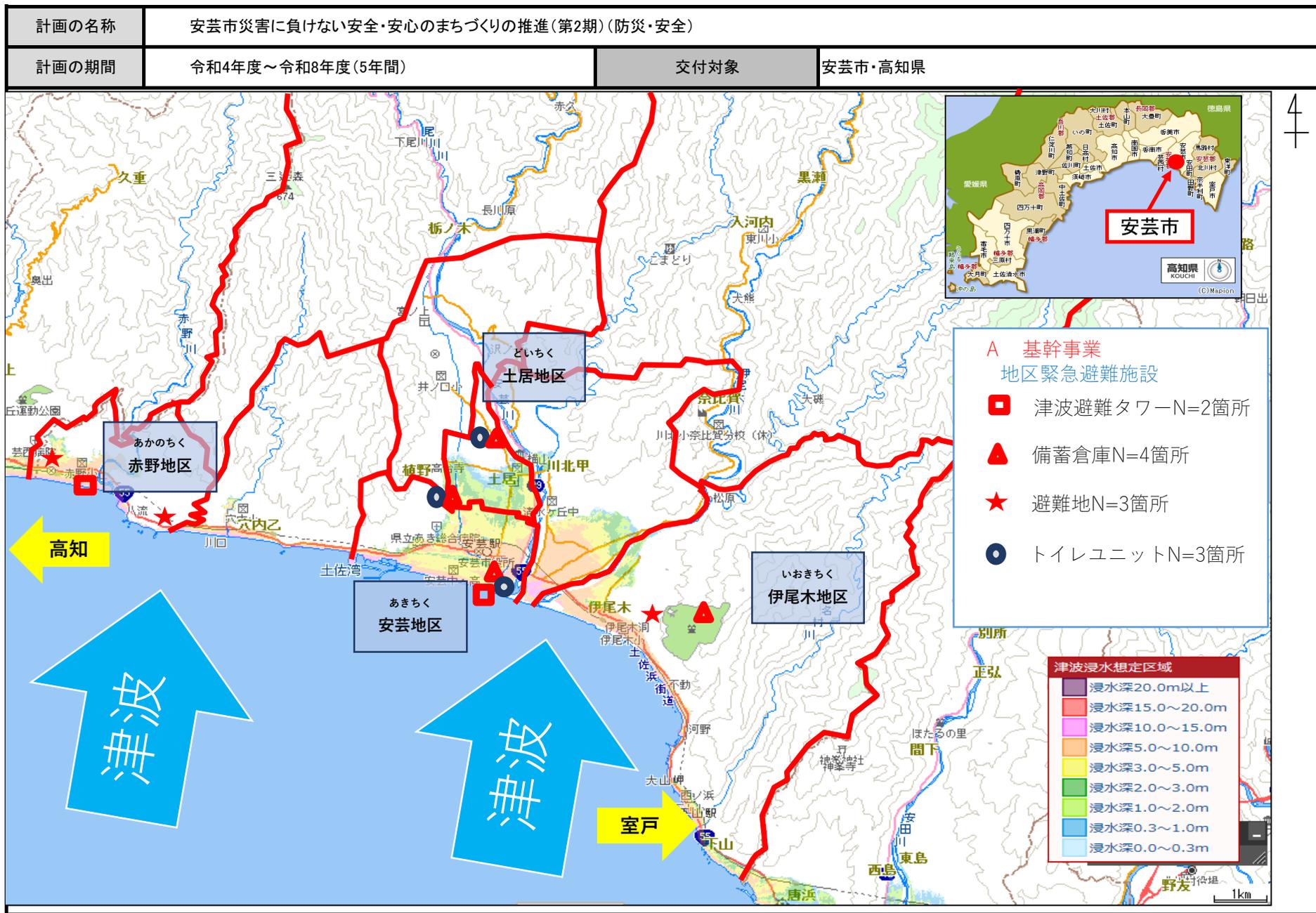


(参考様式3) 参考図面(防災・安全交付金)

※詳細は、別添 都市防災事業計画 様式6「事業計画概要図」による



4

1km

(表紙)

計画名: 安芸市災害に負けない安全・安心のまちづくりの推進(第2期)(防災・安全)

都市防災事業計画(案)
(安芸地区外3地区都市防災総合推進事業)

当初
高知県安芸市

令和4年1月

(様式1)整備方針等

整備方針等

【防災まちづくりの現状及び課題】

安芸市は、高知県の東部に位置する田園都市で、市の南部を横断する国道55号を中心に県東部地域最大の市街地を形成している。市域は東西18.6kmの海岸線が土佐湾に面し、南北33.5km、北は四国山地を背にし、徳島県と接している。市内の中央部には安芸川・伊尾木川が南流し、その流域に安芸平野が広がっている。面積は317.16km²、人口16,716人(令和3年4月1日現在)。

今後発生が予想される南海トラフ巨大地震では震度6弱から7の地震動が想定され、特に、人口が集中している市街地(旧安芸町)の国道55号沿いは、旧河道で軟弱な泥質層であるため、液状化による家屋倒壊等並びに地震発生後の津波により市内全域の海岸隣接地区において大規模な被害が発生する可能性がある。

平成25年5月15日公表の【高知県版】南海トラフ巨大地震による被害想定は、死者数1,800名のうち津波による死者数1,300名、負傷者1,800名、避難者数17,000名となっている。

このため、迅速で円滑な住民の避難を実現させるために必要な避難路や津波避難施設、防災行政無線の整備等の「命を守る対策」に取り組んできた。今後は、老朽住宅が密集する地区における延焼防止に寄与する道路整備や公園等の公共空地の整備、建築物の耐震化等に加え、「命を繋ぐ対策」として避難収容施設での飲料水や生活用水の確保、災害用トイレの整備が喫緊の課題となっている。

また、近年は豪雨による水害も懸念されており、平時より水害リスクを認識したうえで、氾濫時の危険箇所や避難場所についての正確な情報を整理し、洪水時の被害を最小限にするための対策が必要である。

なお、施設整備だけでなく、積極的に地震防災上必要な教育及び広報を推進し、市職員はもとより、小中学校での学校現場や、自主防災組織を主体とする地域での防災教育の取り組みを広げていき、地震による災害時に「自助・共助・公助」三位一体となった防災活動が円滑に展開できるように、防災力の向上を図る必要がある。

(事業地区の現状と課題)

安芸地区は二級河川安芸川河口部の西側に位置し、中心部には江ノ川が流れている。また、南側は土佐湾に面しているおり、標高は低いところで約3mとなっている。【高知県版第2弾】南海トラフの巨大地震による震度分布・予測津波予測(平成24年12月)によると津波到達時間は最速で10～20分、浸水深は最大で10.0～15.0mとなっている。近くに高台や高いビルなどもないところでは津波避難困難者が多数想定される。

伊尾木地区は、土佐湾に面し西側を二級河川伊尾木川が流れている。津波到達時間は最速で10～20分、浸水深は最大で10.0m～15.0mとなっている。伊尾木地区内の西側は、高台や高いビルもないことから津波避難困難者が多数想定される。また東側の地域は、後背地に高台があることから津波から避難するための避難場所の整備を進めている。

土居地区は安芸地区の北側に位置し、東側には二級河川安芸川が流れている。津波到達時間は最速で20～30分、浸水深は最大で5.0m～10.0mとなっている。浸水から免れた場合に土居小学校において地区内の地震・津波被災者を受け入れるための避難収容施設の整備が必要である。

赤野地区は、土佐湾に面し地区内を二級河川赤野川、メサイ川が流れている。津波到達時間は最速で20～30分、浸水深は最大で10.0m～15.0mとなっている。後背地に高台があることから津波から避難するための避難場所の整備を進めている。

【整備方針】

(市域全域及び事業地区における防災上の課題解決のための整備方針)

東日本大震災を受け、「安芸市南海地震対策5カ年計画(H24～28)」（平成24年3月）を策定し、ハード整備は「津波到達時間が短い地域では、概ね5分程度で避難できるようなまちづくりを目指す」ことを念頭に、①津波による被害を防ぐこともしくは被害を低減すること②施設利用者・職員の安全を確保すること③市民や来訪者が円滑かつ安全に津波から避難できること④津波からの避難路・避難場所を確保すること⑤避難後の収容施設を確保すること、ソフト事業は、地域防災計画の見直しとともに各種計画・マニュアルの見直しを進め、自主防災組織をはじめとする地域住民との連携を強化し、地域の“防災力”向上を図る。①住民・地域の防災意識を高めること②揺れによる被害を低減すること③津波から早く避難すること④被災後の避難生活等を支援すること⑤災害時要援護者を支援することを目的・基本方針に整備を進めてきた。

今後は、地震・津波災害にとどまらず、豪雨等による土砂災害や河川の氾濫にも対処できるよう、「安芸市大規模災害対策5カ年計画(R4～R8)を策定し、市民の生命と財産を守る対策を推進する。また、大規模災害では多数の避難者が発生することが予想されることから、避難収容施設の耐震化を引き続き進めると共に、健全な衛生環境を確保するため災害用トイレの整備を進める。

(様式2)計画事業一覧

画事業一覧

都道府県名	高知県	市町村名	安芸市	計画期間	令和 4年度 ~ 令和 8年度
担当部局名	部(局) 危機管理 課 危機管理 係	担当者	(正)米田 広志 (副)寺岡 尚輝 (副)	連絡先	TEL 0887-37-9101 (内線 342) FAX 0887-35-4445 e-mail kikikanri@city.aki.lg.jp

【都市防災総合推進事業】

事業区分	事業主体	事業地区名	地区面積 (ha)	都市防災総合推進事業における事業期間		国費率	交付対象事業費(予定)額	
				開始年度	終了年度		(参考)事業費	(参考)国費
地区公共施設等整備	地区公共	伊尾木地区 避難地ΣN=1箇所	2119	令和4年度	令和4年度	2/3	103.5	69
		赤野地区 避難地ΣN=2箇所	482	令和4年度	令和5年度	2/3	34.3	22.9
	地区緊急避難施設 (直接)	安芸地区 津波避難タワーΣN=1箇所	513	令和4年度	令和5年度	2/3	225.7	150.5
		安芸地区 備蓄倉庫ΣN=2箇所	513	令和4年度	令和8年度	1/2	100	50
		安芸地区 トイレユニットΣN=2箇所	513	令和4年度	令和8年度	1/2	30	15
		伊尾木地区 備蓄倉庫ΣN=1箇所	2119	令和4年度	令和8年度	1/2	15	7.5
		土居地区 備蓄倉庫ΣN=1箇所	258	令和4年度	令和4年度	1/2	40	20
		土居地区 トイレユニットΣN=1箇所	258	令和4年度	令和4年度	1/2	12	6
		赤野地区 津波避難タワーΣN=1箇所	482	令和4年度	令和5年度	2/3	216.5	144.3
合計							777	485.2

注) 補助事業費について百万円単位。

注) 該当のないメニューについては行を削除する等して、なるべく一枚に収まるよう作成してください。

注) 複合施設整備については、設計完了前に補助対象範囲を協議すること。

(様式4)年度別事業計画1【参考】

下段:変更後】【百万円単位】

事業区分	事業主体	事業地区名	整備内容	重点密集市街地	国費率	交付対象事業費(予定)額 [国費ベース]					
						令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	計
地区公共施設等整備	地区公共	伊尾木地区	避難地ΣN=1箇所	×	2/3	69					69
		赤野地区	避難地ΣN=2箇所	×	2/3	20.3	2.6				22.9
	地区緊急避難施設(直接)	安芸地区	津波避難タワーΣN=1箇所	×	2/3	150.5					150.5
		安芸地区	備蓄倉庫ΣN=2箇所	×	1/2					50	50
		安芸地区	トイレユニットΣN=2箇所	×	1/2					15	15
		伊尾木地区	備蓄倉庫ΣN=1箇所	×	1/2					7.5	7.5
		土居地区	備蓄倉庫ΣN=1箇所	×	1/2	20					20
		土居地区	トイレユニットΣN=1箇所	×	1/2	6					6
		赤野地区	津波避難タワーΣN=1箇所	×	2/3	144.3					144.3
合計					410.1	2.6	0	0	72.5	485.2	

(様式5)年度別事業計画【参考】

○補助額の内訳

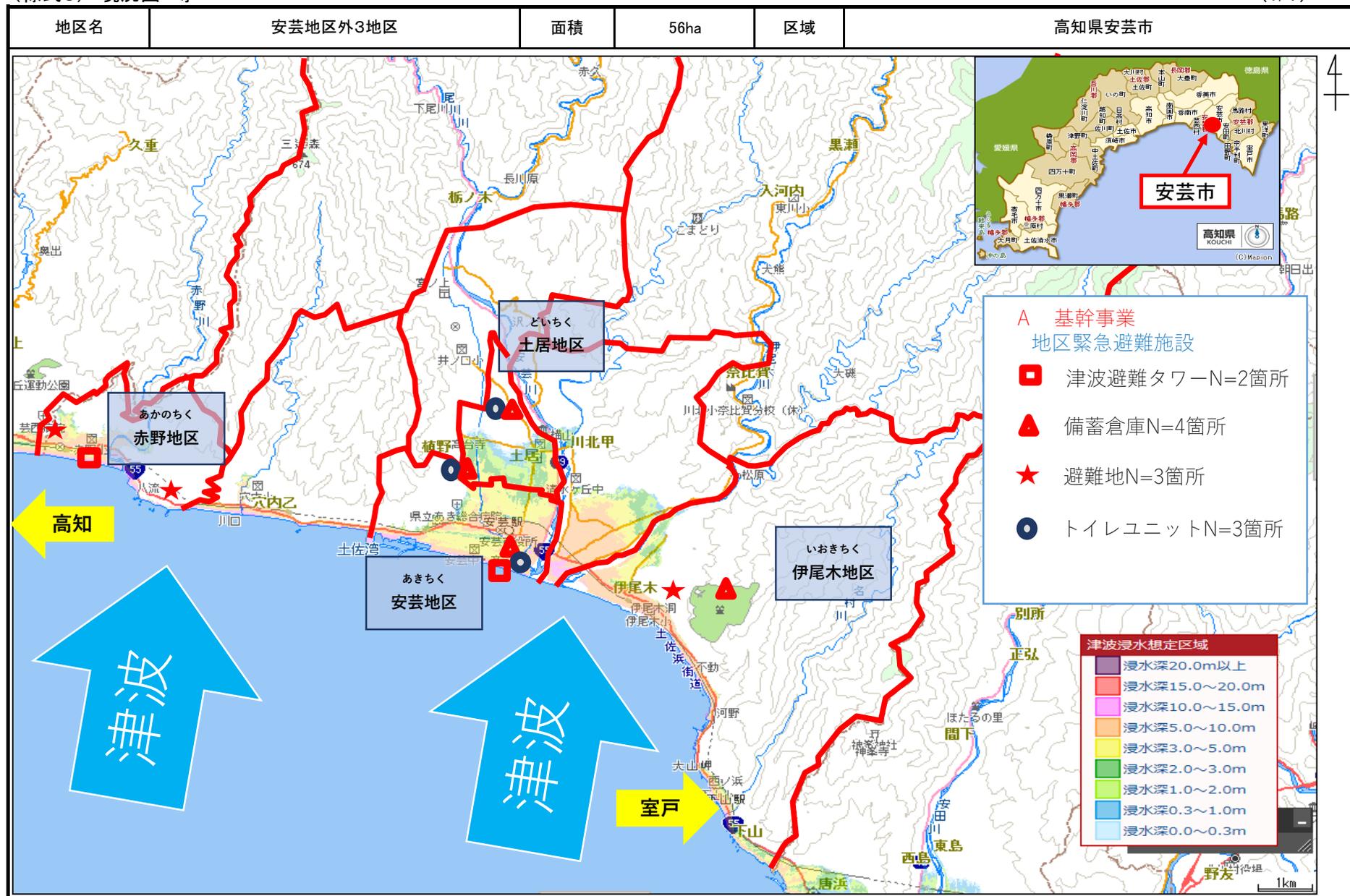
[上段:当初(変更前)、下段:変更後]【百万円単位】

事業地区名	整備内容	整備の内訳	国費率	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	計
安芸地区	備蓄倉庫ΣN=2箇所	用地以外	1/2					50	50
	津波避難タワーΣN=1箇所	用地以外	2/3	150.5					150.5
	トイレユニットΣN=2箇所	用地以外	1/2					15	15
伊尾木地区	備蓄倉庫ΣN=1箇所	用地以外	1/2					7.5	7.5
	避難地ΣN=1箇所	用地以外	2/3	63					63
		用地	2/3	6					6
土居地区	備蓄倉庫ΣN=1箇所	用地以外	1/2	20					20
	トイレユニットΣN=1箇所	用地以外	1/2	6					6
赤野地区	津波避難タワーΣN=1箇所	用地以外	2/3	144.3					144.3
	避難地ΣN=2箇所	用地以外	2/3	18	2.6				20.6
		用地	2/3	2.3					2.3
合計				410.1	2.6			72.5	485.2

○用地取得面積

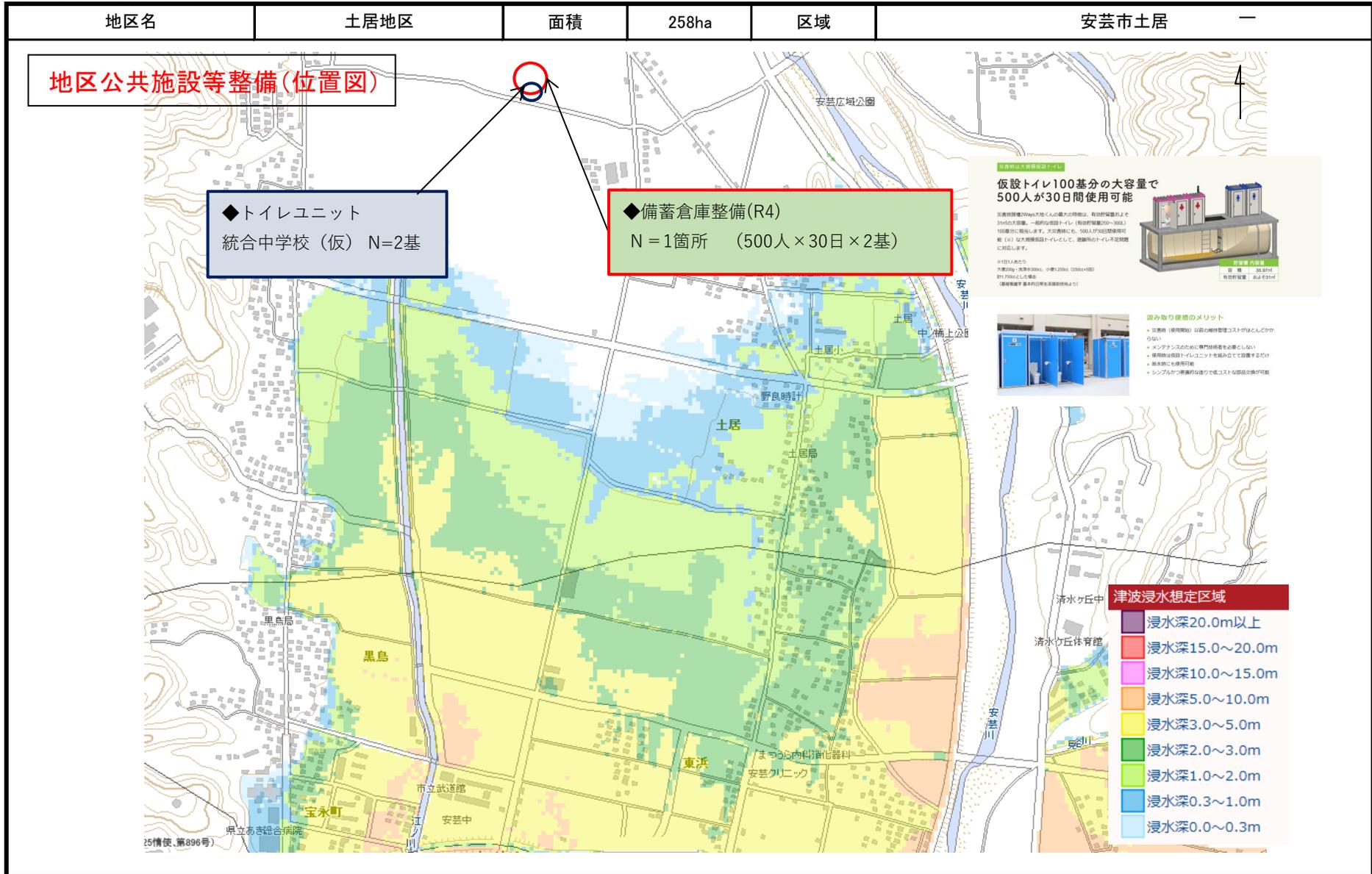
[上段:当初(変更前)、下段:変更後]【m2単位】

事業地区名	整備内容	整備の内訳	国費率	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	計
伊尾木地区	避難地	用地	2/3	3024					3024
赤野地区	避難地	用地	2/3	1086					1086













(様式6) 現況図 等 [高知県安芸市 津波避難困難者ゼロプログラム]

(全体図)

